

令和6年度 第1回学校運営協議会 報告

1 日時

令和6年4月24日（木）午後1時30分から3時30分まで

2 会場

浜松東高校第一応接室

3 出席者

(1) 委員

清水猶（浜松市民生委員児童委員協議会旧東区顧問）

山下智之（浜松市内協働センター講座講師）

高木邦子（静岡文化芸術大学教授）

高林宏（スヤマビルドサービス(株)代表取締役社長）

松島民枝（静岡県立浜松東高等学校同窓会会長）

和田安彦（静岡県立浜松東高等学校後援会会長）

(2) 学校関係

丹生敬人(校長)、坪井保人(副校長)、近藤好正(教頭)、神谷兼司(事務長)、

秀平教朗(教務主任)、井口仁美(生徒指導主事)、松永行弘(進路指導主事)、

大城琴世（総務課・書記）

4 次第

(1) 校長挨拶

(2) 自己紹介

(3) 学校運営協議会委員委嘱及び依頼事項の説明

(4) 令和5年度学校関係者評価について

(5) 令和6年度学校経営計画についての説明

(6) 校内見学（授業見学）

(7) 学校の現状報告及び質疑応答

5 意見交換

(1) 授業を拝見し授業中の生徒の態度や目つきに感心しました。教科の内容がすごく変化しているということを実感しました。生徒が一般常識の教科書を持っていたことがとても興味深かったです。生徒が使っている教科書の内容も少し拝見したくなりました。

(2) 全体的に安定した学校だと感じました。選択授業を拝見させていただき授業内でスマホを活用しているのが印象的でした。大人数ではなく少人数制の選択授業でなごやかな雰囲気が良いと感じました。

(3) スクールポリシーの柱に‘安心・安全な学習環境の整備’の一文があるが安心安全では「ない」場があるのだろうか、疑いたくなるくらい、校内は落ち着いた

雰囲気であると感じました。生徒指導主事を女性が務めていらっしゃるということで、女性でもこのような立場の役目を担える時代になったのだと思いました。

- (4) 生徒たちは皆楽しそうに授業を受けていると感じました。本年度の計画に成果目標への数値が示されるようになり、具体的にどこまで来たのかが分かり良いと感じました。
- (5) 授業を拝見し自分自身も受けたいと感じる内容が多くありました。交通事故が発生してしまうのは自転車通学が多い以上致し方ない面もあるとは思いますが。生徒の命を最優先とし、ヘルメットの着用義務にしていくべきではないかと感じました。
- (6) 授業を拝見しプロジェクター等 I C Tを活用した学びが多く展開されていると感じました。学校関係者実施報告書に関しては B・C が付く項目があっても良いのではないかと感じました。